

千葉市重症心身障害児（者）を守る会通信

千葉市重症心身障害児（者）を守る会

千葉市美浜区稲毛海岸 2-3-1 TEL043-242-1230

令和8年5月



守る会の三原則 社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会

- 一.決して争ってはいけない。争いの中に弱いものの生きる場はない。
- 一.親、個人がいかなる主義主張があっても重症児運動に参加するものは党派を越えること。
- 一.最も弱いものをひとりももれなく守る。

千葉市重症心身障害児（者）を守る会 会長 加藤 悦子

日ごろより当会活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

また重症心身障害児者支援に携わって下さっているみなさまに深く感謝申し上げます。

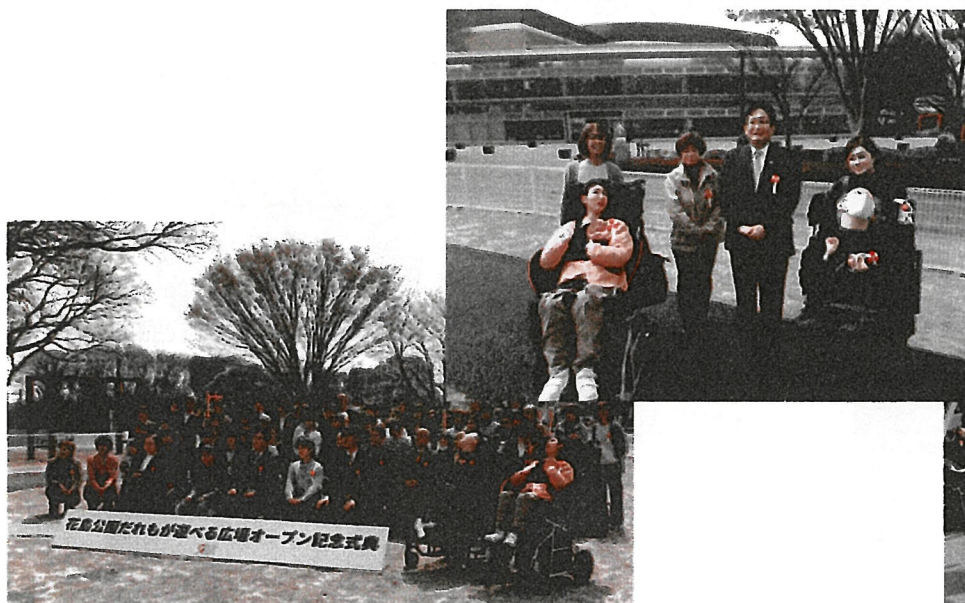
昨年度末に千葉市花見川区花島公園に『だれもが遊べる広場』がオープンしました。守る会からも重症児者も安心して楽しめる公園を目指して若い会員さんたちが、令和5年の計画段階からワークショップ等への参加で意見を出し合うなどしてできあがりしました。

守る会は毎年千葉市へ要望書を提出しています。「守る会が何をしてくれるの」と言われる親御さんもいますが、重症児者のより豊かな生活が叶うように、会員さんからの要望も聞きながら根気よくお願いしていきます。

今年度はとてもうれしいことがありました。医療的ケア者の生活介護事業所利用に千葉市単独の加算が付くことになりました。このこともずっとお願いしてきたことでした。多くのみなさまのご理解も得て決定されたことと思います。大変にありがとうございます。今までは医療的ケアがあるために通所を断られることも多くありました。この単独加算によって千葉市のどの生活介護事業所でも医療的ケアのある重症心身障害者が通所を断られることがなくなるように願っています。

11月14日（土）は千葉市文化センターにおいて、関東・甲信越ブロック千葉大会が開催されます。会員のみなさまのご参加とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【誰もが遊べる広場オープン記念式典】 R8 3/30 花見川区花島公園



神谷俊一市長と
記念撮影しまし
た！

千葉市初のインクルーシブ広場がオープンした花見川区の『花島公園』に行ってきました。

『だれもがあそべる広場』には10種類の遊具があり、重心の長男は5種類の遊具で遊べて、どれもとても楽しんでいる様子でした。いつもは弟達だけが遊具で遊び、長男は車椅子に乗ったまま待っているか、近くを散歩するしかなかったのですが、兄弟揃って同じ遊具に乗り、一緒に遊べ、家族皆で楽しむ事が出来ました。

周りの子ども達とも自然な関わりを持ってそこには温かい空気が流れていました。長男にとってとても新鮮な経験だったと思います。

公園を作るにあたって開かれたワークショップで我が家が提案させて頂いた遊具が実際に設置され、そこで子ども達が笑顔で遊ぶ姿が見れてとても嬉しかったです。叶わないかもしれないけれど、要望を行政に伝える事の大切さを実感出来ました。先輩方から「声を上げないと何も始まらないよ」と良く耳にするのですが、本当にその通りだと感じました。この経験を今後活かしていきたいと思いました。

この素敵な広場を作って頂いた事に感謝すると共に、この広場をきっかけに『インクルーシブ』という言葉を使わなくても、障害の有る無しに関係なく、お互いを認め合える社会になってほしいと強く感じました。(石塚 美奈)

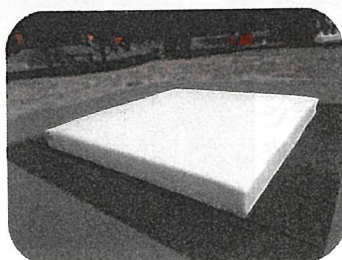
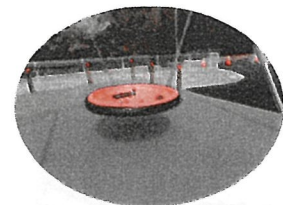
令和5年、インクルーシブな公園を作るにあたり、公園課・業者の方々が守る会などの当事者団体を交えて数回のワークショップを開催してくださいました。構想段階から当事者の声を存分に汲み取ろうとくださったことはとても貴重な経験でした。今まで当事者が置き去りになりがちな様々な事例を見聞きしてきたので、より一層の有り難みを感じました。

実現に向けて現実との兼ね合い等々ご苦労があったことと思いますが、多様な人々が同じ空間を共有できることはとても大きな意味があると思います。

色々な人が居るのが世の中ではないでしょうか。公園内も木々や花が多種多様に輝いていました。だからこそ美しく豊かなのではないのでしょうか。人々が補いあって支えあっていける世の中であってほしい。心から願っています。

最後に…ワークショップから関わる機会を与えてくださった守る会の皆様に感謝いたします。

(金川 恵里)



【ぶかぶかプール教室】7~8月

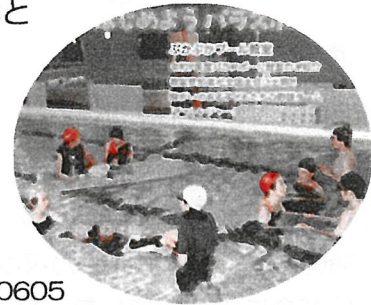
主催：ちばしパラスポーツコンシェルジュ ハーモニープラザ水浴訓練室

娘は高3で全介助、胃ろうと吸引の医療的ケアが必要です。小学部の頃はプールの授業がありましたが今はなく、プールに入る機会はなくなりました。

今回ぶかぶかプール教室に参加させて頂き、普段はとても緊張が強く体の重さもありますが、プールに入ると最初は緊張が強かったのが徐々に力が抜け、首と体を軽く支えているだけで気持ちよさそうにふわっと浮いていました。あの体験はプールでしかできないと思います。本当にいい表情でした。

講師の先生方が話しかけや表情を見ながら楽しい時間にして下さり、千葉市パラスポーツコンシェルジュの方々を着替えの場所や付添者のことも細かく気を配り調整して下さい、参加しやすかったです。(佐藤 陽子)

※ちばしパラスポーツコンシェルジュ 043-312-0605



【重症心身障害者の就労を考える会】9/30 千葉市役所

重症心身障害者の就労を考える会に講師として参加してきました。

息子はどんなことを質問されるのかとドキドキしていましたが、同じグループになった皆さんが優しく話しかけてくださり、息子の大好きな千葉ロッテマリーンズの話をしてくださったのもあり、一生懸命に口を動かして好きな選手を伝えようとしていました。

息子とのコミュニケーションのとり方や生活介護施設での活動内容など細かく質問して下さりました。今以上に障害のある人も過ごしやすい世の中にしていきたいと話して下さっていたので、やはり、伝えていくことは大切ということを確認できたので、これからもできるだけこのような機会に参加していきたいと思いました。(落合 恵美)



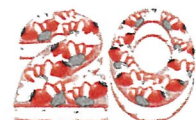
【医療的ケア部会】

毎月第三木曜日に ZOOM で行われている千葉市医療的ケア部会に、千葉市守る会から加藤会長、白川、佐藤で参加させて頂いています。各区の基幹センター、事業所、大学の先生、など関係する機関から大勢の方が参加されています。

医療的ケア部会は、検討会とワーキングがあり、事業所からの発表や、避難訓練の様子、通学支援について、当事者からの話など、医療的ケアがある児者全般の話題が月替わりで設定され、それについて参加者から意見を出して検討していくという形です。二人とも参加させて頂くようになってからまだ期間が短いこともあり、毎回知らないことが多くとても勉強になります。

昨年度は年間を通して、防災の個別避難計画や短期入所についての話題が話し合われました。個別避難計画では、早い段階で作成された方の更新について、また個別避難計画を避難先として書かれている所に渡しておくのはどうか... など具体的に話し合いされました。短期入所については、大学の先生を中心に重症児者の方を対象にアンケートをとりました。定期的に利用している方もいれば、まだ利用したことのない方もいました。今後、取りにくいと言われている予約や、不安なく預けられるにはどうしたらいいか話し合われます。いろいろな立場の方が参加してくださっているからこそ、様々なご意見がありありがたく思います。(白川理絵子 佐藤陽子)

【20歳おめでとう!】さいわいに通所されている岩澤百合子さんが20歳を迎えました。これからも元気に楽しく過ごしてね!





千葉県消防団による演奏会

【千葉市福祉大会】 12/6 ハーモニーブラザ

各障害者団体が参加される中、作文やポスターの表彰、全国スポーツ大会の報告がありました。また、千葉県消防団による演奏会、ダウン症のあべけん太さんとお兄様の講演で楽しいお話を聞かせていただきました。ダウン症という障害があっても、自分の好きなことや思ったことにどんどんチャレンジする姿勢、それを全力で支えるお兄様の暖かい気持ちに胸を打たれました。(白川 理絵子)

【全国大会 北海道 札幌市】 9/20~21

今年の全国大会は札幌パークホテルで開催されました。会員・関係機関・ボランティアの方々550名が参加しました。分科会では母親部会に参加しました。グループワークで、会員の高齢化に伴い、きょうだいが会員を引き継いでいる事例について、ご本人の本音を伺う事が出来ました。「親と同じようには出来ないが、些細な事でも思っていることを日頃から聞かせてほしい」と。今まで、きょうだいに任せることは「しない」と決めつけていましたが、必ずどこかで手を借りる時が来るはず。親の考えを伝えておこうと思いました。全国大会は、幅広い事例を聞くことができ、有意義な経験をさせていただきました。(淀縄 喜代美)



【関東・甲信越ブロック群馬大会】 11/15 高崎シティギャラリー コアホール

<基調講演>

いのち輝かせるために～障害児者に豊かな明るい人生を～
上智大学名誉教授 大塚晃先生

<シンポジウム>

「てんかん治療の展望と重症心身障害児(者)の療育・診療」

独立行政法人国立病院機構茨川医療センター

てんかん支援拠点病院長 高橋 章夫 先生

「在宅生活に欠かせない短期入所支援について」

障害児者短期入所施設翠のこかげ

医療法人翠和会中田クリニック院長 中田 裕一 先生

「重症心身障害児者・医ケア児と家族に必要な支援」

馬大学大学院保健学研究科看護学教授 金泉志保美 先生



基調講演ではご自身にも障害をもったお子さまがいらっしゃるお立場から～生まれてきてくれてありがとう・出会ってくれてありがとう～と障害児者への愛おしさをもってお話されている温かい講演でした。シンポジウムではてんかん専門の先生のお話や地域で生きていく上での取り組みなど聞くことができました。

今年は千葉県大会(11月14日)が開催されるために、どのように開催するのも大きな関心事でした。どの支部も会員さんの減少や高齢化が悩みですが、群馬県では多くの方がスタッフとしても活動されていることに感心しました。(加藤 悦子)

第36回関東・甲信越ブロック千葉大会 令和8年11月14日(土)

テーマ:「共に育ち豊かに生きる共生社会をめざそう」

基調講演 千葉リハビリテーションセンター

愛育園園長 石井光子氏

場 所 千葉市文化センターアートホール 千葉市中央区中央2-5-1

(会員の皆様へ)ブロック大会にご参加と運営へのご協力をよろしくお願いいたします。当日は会場とさいわいの2か所にケアルームを準備します。